



# 園だより

文京区立第一幼稚園  
令和元年度 9月号

URL <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dai1-kg/>

## 子供たちのアンテナ

園長 田村 秀子

朝の涼しい風や虫の声に秋の訪れを感じる頃となりました。今日から2学期が始まり、元気な子どもたちの声が幼稚園に響いています。久しぶりに会う子どもたちは、日焼けして、少し大きく、たくましくなったように感じます。これから園生活の楽しさを思い出し、先生や友達と関わりながら、活発に遊びを繰り返していきましょう。

今年は1学期にほとんどプール遊びができないまま夏休みとなりましたが、7月後半から8月にかけて、プール開放や預かり保育のプール遊びを楽しむことができました。プール開放当番にご協力くださった保護者の方々、ありがとうございます。私も一緒にプールに入りましたが、子供たちが少しずつ水に慣れ、手をつけてワニ歩きをしたり、友達と水鉄砲を空に向けて花火のように飛ばしたりする姿が楽しそうで、嬉しかったです。預かり保育の子供たちも夏の前半は屋上で、後半は園庭でプール遊びを楽しみました。また園庭開放に来て、保護者同士でビニールプールに水を入れ、友達とプール遊びを楽しむ姿もありました。預かり保育を行いながらではありますが、今後も園児親子や地域の方々に園庭を開放していきたいと思えます。

そして幼稚園では1Fと2Fのトイレの快適化工事が終わり、きれいになりました。また、2階廊下に電灯を2台増やしていただき、廊下も明るくなりました。預かり保育の子供たちは、紫組や緑組で昼寝をしたり、1階の遊戯室に引っ越して生活したりしましたが、環境の変化にも対応し、おもちゃの引越も手伝い、どこでも遊ぶ、どこでも眠る、とたくましく過ごしました。

先日の夕方、預かり保育の応援に入っていた時、「先生、いいものを見せてあげるね。ロケットがある所に行ってきたんだ」と筑波のJAXAで撮った写真を見せると、「あっ、ほんとのロケットだ」「これ、はやぶさ?」「先生も宇宙服着たの?」など、子どもたちが目を輝かせて話してきました。今年は全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会総会が茨城県筑波市で行われましたので、私も文京区から参加し、JAXAの筑波宇宙センター視察ツアーにも出かけてきました。展示室のスペースドームに一步足を踏み入ると、はやぶさ2、いぶき、だいち2号、きぼうの日本実験棟など、実物大の模型がたくさんあり、写真や映像で見るのとは違った臨場感がありました。「今、地球の周りを飛んでるんだって」「宇宙服、着てみたかったけど並んでてだめだった」などと話すと、子供たちも「テレビで見たことある」「宇宙に行くと、泳ぐみたいになるんだよね」などと次々に話し始め、すごく関心があるんだなと思いました。幼児も世の中の様々な出来事を自分なりのアンテナで捉え、興味、関心を広げているようです。この興味・関心や好奇心を大切に捉え、関わる大人もアンテナを高くして、一緒に関わっていききたいと思いました。大会の中でも、園・家庭・地域が連携し、時代の変化に対応しながら、子供たちが思い切り遊べる環境づくりや一人一人が自信をもてる関わりをしていくことについて提案発表がなされていました。人と関わり、主体的に遊び、互いに学び合うことで、子供たちのアンテナはさらに磨かれていくことでしょう。

今年は9月13日が「中秋の名月」、翌日の14日が「満月」です。名月と満月がずれることもあるそうで、14日は満月が今年最も小さく見える日だそうです。晴れていたら、2日間、空の月を見比べてみるのも面白いのではないのでしょうか?

身近な自然や出来事を自分のアンテナで感じとり、心を寄せ、遊び込む2学期にしたいと思えます。

